

輝くためのハーモニー



グランプリを受賞した3年2組の「輝くために」

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより118号
R1. 10. 25

と願います。惜しくも、目標としていた賞に届かなかった学級の皆さんは、悔しい思いをされているでしょう。この悔しさを心に留めて、精一杯努力してきた自分達を認めて、次へのステップにしてほしいと思います。合唱コンクールは、学級の集団づくりの機会です。集団で表現することの楽しさや美しいものを追い求めて努力することほど、かっこいいものはありません。私達は美しいものに感動するために、ここに集まっている。ここで自分が生きていることを実感する。今日は、素晴らしい日となりました。厳選な審査を下されたT・U先生、M・M先生、K・K先生、ありがとうございます。N高校合唱同好会の皆さん、透き通るような歌声、感動しました。ありがとうございます。あすから、また学校生活に戻り、学習や生活に頑張っていくきましょう。K先生、他職員の方皆さん、お疲れ様でした。感

平日の木曜日に関わらず、時間を調整して下さり、ご参観いただきました。来賓、保護者の皆様に感謝申し上げます。お陰で本大会も生徒らの活躍が大いに盛り上がり、会場に各学級の素敵な歌声と団結心を届けることができました。ありがとうございます。特に3年生の合唱レベルが上がったことを大変、嬉しく思います。金賞を受賞した学級やグランプリを獲得出来た学級の皆さん、おめでとうございます。皆さんの素晴らしい合唱は、私達に感動を与えてくれました。そして、勇気ももらいました。この充実感を大切にして、皆さんの学級を更により良いものへと創り上げてほしい

剣道と茶道の残心

くらの間をおいてから…。その無言の間が心を通わせることがある。」と教えられたと言います。〈中略〉剣道に明け暮れる2人女子高校生を描いた「武士道シックスティーン」という本があります。この中に「残心」という言葉が度々出てきます。剣道を学んだ方であれば、ご存じのことでしょう。メンやドウを打ち込んだ後、油断せずに間合いをとって直ちに中断の構えをすることです。どんなに技が決まっても、この残心の動作をとらないと審判は「一本」の旗を上げません。また、一本を取った後、ガッツポーズなどが見受けられれば、おこり高ぶり、残心がないと見なされ、一本を取り消されることもあります。〈中略〉

鬼平犯科帳などの代表作で知られる作家の池波正太郎さんは、小学生の頃に電話の切り方について先生から、「話が終わっても、ちょっと間をおいて切りなさい。おじぎする



国頭教育事務所 神山所長が発行している事務所だより「揃撃徹底」(せんけいてつてい)第34号に「残心」について面白い記事がありましたので、一部紹介します。

ひとつひとつ慎重に、大切に、茶道具を置いたその手は、恋しい人との別れを惜しむが如く、心そこに残さない、という意味です。私もかつて師匠によく注意されました。そんな台所仕事みだいに道具を扱うなど。(苦笑)気持ちが入っていない、それが所作にあらわれ、ひいては点前中に漂う空気感も変わってきます。これは事実です。心を残す、「残心」。このかっこいい言葉を使っていきたい。心残り、ではありません。



「人間、後の態度が肝心だよ。」ということでしょうか。珠里庵 (Pearl-an)さんのブログによると

茶道の世界でも茶器を置くときには恋人と別れるときのように余韻をもって離すようにと教えています。まさしく、電話を切るときとの間のようです。生活の中では、ドアを閉め忘れたり、乱暴に扱ったり、仕事の後片付けを怠ると「残心ができていない」ということになるでしょう。「残心」は言い換えれば

もあります。武道における残心とは、技を決めた後も心身ともに気を抜かず、相手の反撃に瞬時に対応したり、更なる攻撃を加える準備をする身構えと気構えのことです。そして、闘う相手に感謝する。相手があつてはじめて技術の向上ができるなど、相手を尊重したり思いやることです。